



# 東村山市子ども読書活動推進計画

(平成17年度～21年度)

進捗状況報告②『きょういく東村山』より

## 子どもも大人も楽しい紙芝居



本計画の子どもの読書環境整備の一環として、昨年度(平成17年度)実施した市立図書館の「紙芝居の内容別分類整備」事業をはじめ、最近の紙芝居をめぐる動きを報告します。

### 紙芝居の魅力

紙芝居といえば、子どものころの街頭紙芝居を懐かしむ方もいらっしゃるでしょうか。

紙芝居は、日本人が創り出した独特の形式をもった文化として、長い間親しまれてきました。演じ手が舞台の横で観客と向き合うことで、自然にコミュニケーションが生まれ、臨場感のある作品の世界を楽しむことができます。

仲間と肩を寄せ合ってドキドキしながら観る体験は、今の子どもたちにとっても格別なものです。

### 観て楽しい やって楽しい 紙芝居

中央図書館では、子ども読書の日(4月23日)に紙芝居サークル『原っぱ』による紙芝居の上演を行いました。『原っぱ』は、図書館の講座をきっかけに誕生したパワーあふれる中高年男女約20名のグループです。

表情豊かな演技に声を張りあげる子どもたち。紙芝居ならではの掛け合いに演者と観客の心が一

### 図書館の紙芝居コーナーをご利用ください

図書館では、紙芝居もほかの本と同じように貸出していますが、「七夕の由来がわかるものを演じたい」「交通安全の指導に使いたい」など様々なご質問をいただきます。

そこで、たくさんの紙芝居の中から、「行事や季節に関するもの」「昔話」「手洗いやうがいなど健康に関するもの」「交通安全や地震・火事などの防災もの」「聞き手が参加するタイプのもの」に分類して、選びやすいようにしました。また、大勢の聞き手を対象として演じる方には、紙芝居舞台も貸出しています。

最近では、子どものいる場所はもちろん、老人ホームや病院等、いろいろな場所で紙芝居を演じる方が増えています。また、市内在住の紙芝居作家・やべみつりの氏の指導のもと、紙芝居を作る活動も広がっています。

家族やグループで、子どもたちとのふれあいに紙芝居を利用して、ぜひその素晴らしさを実感してください。

『きょういく東村山』第48号より

平成18年6月20日号

編集・発行 東村山市教育委員会